

さいたま市総合振興計画策定のための

職員意識調査報告書

平成14年3月

さいたま市

目 次

1 . 調査の概要	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査時期	1
(5) 回収結果	1
2 . 回答者の属性と調査結果の概要.....	2
(1) 回答者の属性.....	2
(2) 調査結果の概要.....	3
豊かな自然と生活利便性に恵まれたさいたま市.....	3
柔軟な発想による行政の改革、広聴と情報の公開による市民参加の活性化	3
福祉面の充実を基本にした地区のまちづくり	4
生活・環境と福祉の都市さいたま	4
2 . 調査結果の分析.....	5
(1) さいたま市のイメージについて	5
現在のイメージ（問 1 ）	5
将来のイメージ（問 2 ）	7
さいたま市の優れている点（問 3 ）	9
(2) 市役所の仕事について	11
市民意向反映に対する評価（問 4 ）	11
行政運営の改善策（問 5 ）	13
市民サービス向上のための課題（問 6 ）	15
市民参加の促進策（問 7 ）	16
(3) 地区のまちづくりとさいたま市の将来像について	18
まちづくりの重点（問 8 ）	18
目指すべき将来像（問 9 ）	20
将来像実現の方策（問 10 ）	22
(4) 自由意見の要約	24
資料 調査票	29

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

さいたま市では、合併に際して策定した新市建設計画に代わり、今後の政令指定都市への移行を視野にいれた「さいたま市総合振興計画」の策定に着手しました。市政運営の最も基本となるこの計画の策定にあたり、市民意識調査とともに市職員の意識を把握し活用していくため、調査を実施したものです。

(2) 調査対象

さいたま市職員の中から 800 人を無作為抽出しました。

(3) 調査方法

直接配布・回収を行いました。

(4) 調査時期

平成 13 年 11 月中旬～下旬にかけて実施しました。

(5) 回収結果

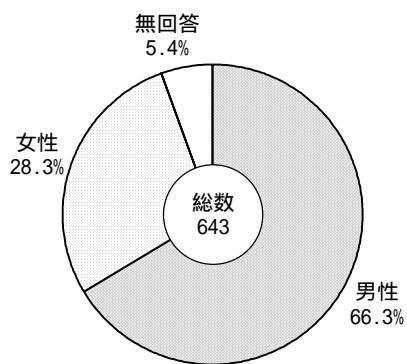
配布票数 a	回収票数 b	回収率(%) b/a
800	643	80.4

2 . 回答者の属性と調査結果の概要

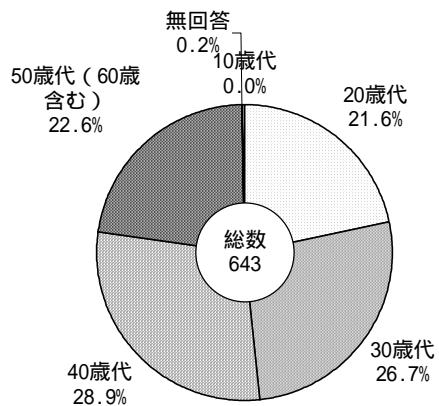
(1) 回答者の属性

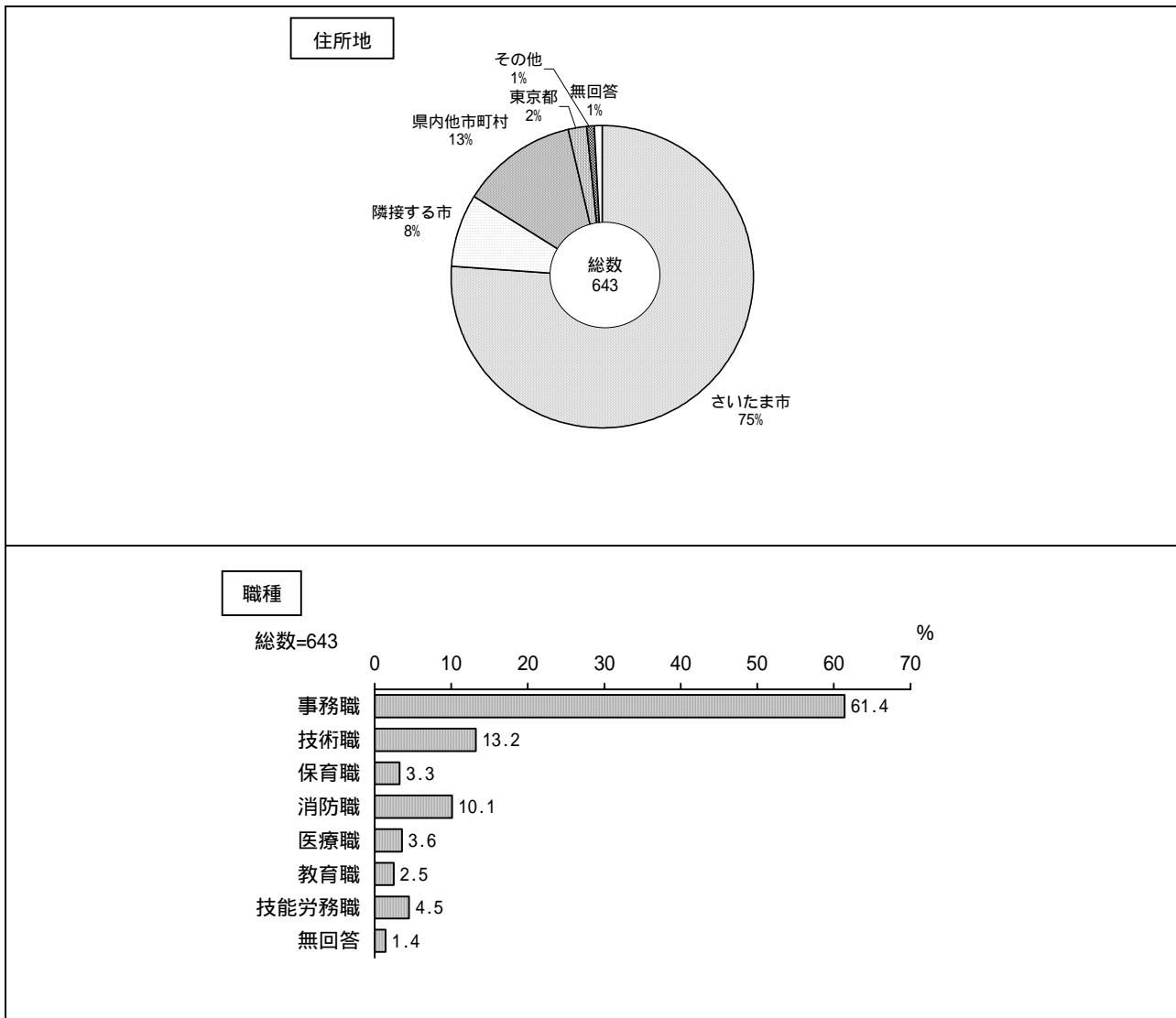
アンケートに回答した職員の属性は次のようにになります。

性別



年代





(2) 調査結果の概要

豊かな自然と生活利便性に恵まれたさいたま市

さいたま市のイメージについては、「発展的な」「自然豊かな」といった印象が強く（問1）。今後のさいたま市に求めるイメージは、「優れた環境のイメージ」とする職員が半数以上を占めています（問2）。また、首都圏の政令指定都市と比較して、自然環境が残され、公害が少ないこと、生活利便性や発展可能性が高いことなどが評価されており（問3）。このような回答傾向は市民意識調査とほぼ同様となっています。

柔軟な発想による行政の改革、広聴と情報の公開による市民参加の活性化

市が住民要望・意見を取り上げているかどうかという評価については、「普通」だという意見が最も多くのもの、「まあまあ取り上げている」はほぼ4人に1人の割合となっており、市民の評価（約9人に1人）よりも高くなっています。行政運営の改善策としては、「前例にとらわれない柔軟な発想」が必要だとする意見が半数を超えて最も多く、「情報化による事務等の迅速化」「民間にまかせる」などが続き、市民意識調査で比較的多かった「行政組織のスリム化」「公費支出のチェック」「窓口での対応（応対）の向上」などの意見はありませんでした（問5）。市民サービス向上のための課

題は、「本庁と区役所間の連絡体制の強化」を必要とする声が圧倒的に多く（問6）、市民参加の促進策については「あらゆる層の参画機会の充実」に続き、「できるだけ多くの意見を聞く」、「市民懇談会などの開催」、「各種計画の情報公開の充実」が上位を占めています（問7）。このように広聴や情報の公開が重要とする認識は市民と共通しています。

福祉面の充実を基本にした地区のまちづくり

今後のまちづくりについては、「福祉面の充実」が最も多く、次いで、「自然環境の保全、保護」、「生活基盤の整備」および「道路・交通の充実」となっており、「医療面の充実」がとくに多かった市民意識調査とはやや異なる傾向となっています（問8）。

生活・環境と福祉の都市さいたま

さいたま市が今後目指すべき将来像については、福祉・環境などの大きな課題に取り組む「質の高い生活都市」を求める声が多いほか、障害者や高齢者が安心して暮らせる「保健・福祉の充実した都市」、水辺や大規模な公園・樹林地を活かした「みどり豊かな都市」に対する支持が多くなっています（問9）。市民意識調査との比較では、職員は保健・福祉面をより重視する傾向があります。

また、将来像実現の方策として、「自然環境の保全」が第一にあげられており、さらに「快適な住環境の整備」、「風格ある市街地景観の整備等」、「高度情報化対応の情報網の整備」、「顔となる中心市街地の整備」などが重要だという意見が多く、市民意識調査と比較して、職員は高度情報化への対応を重視する傾向があります（問10）。

2. 調査結果の分析

(1) さいたま市のイメージについて

現在のイメージ(問1)

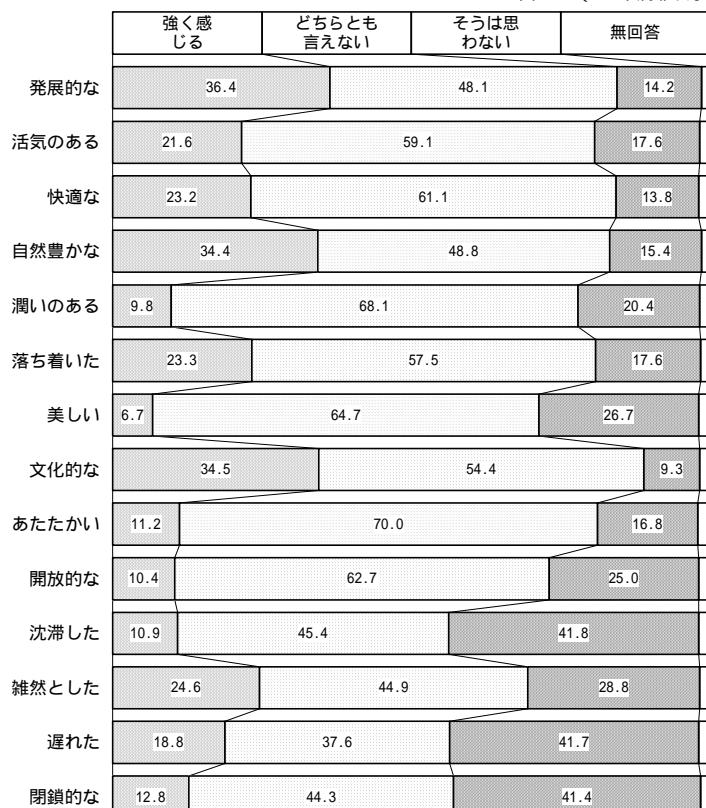
あなたは、さいたま市をどのように感じていますか。次の1~14のそれぞれについて、該当するものを1つ選んで下さい。

問1.さいたま市のイメージ

職員

総数=643

単位: % (5%未満非表示)



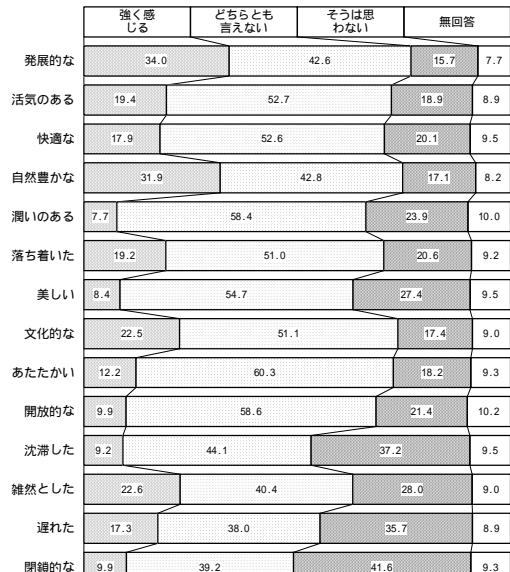
(注) 5%未満数値：発展的な(1.4)活気のある(1.7)快適な(1.9)自然豊かな(1.4)潤いのある(1.7)落ち着いた(1.6)美しい(1.9)文化的な(1.7)あたたかい(2.0)開放的な(1.9)沈滞した(1.9)雑然とした(1.7)遅れた(1.9)閉鎖的な(1.6)

参考

市民意識調査結果より

問1.さいたま市のイメージ

総数=4719 単位: % (5%未満非表示)



さいたま市のイメージについては、「発展的な」「自然豊かな」といった印象が強く、逆に「閉鎖的な」「沈滞した」「遅れた」という印象については否定的となっています。こうしたイメージは、市民意識調査とほとんど同じ傾向となっています。

年代別にみると、「発展的な」というイメージは50～60歳代で比較的多くなっていますが、「自然豊かな」「文化的な」というイメージは年齢との相関はありません。

住所地別にみると、「発展的な」というイメージは隣接市以外の県内他市町村に住む職員で強くなっています、「自然豊かな」「文化的な」というイメージは、東京都に居住する職員で強くなっています。

属性別集計表

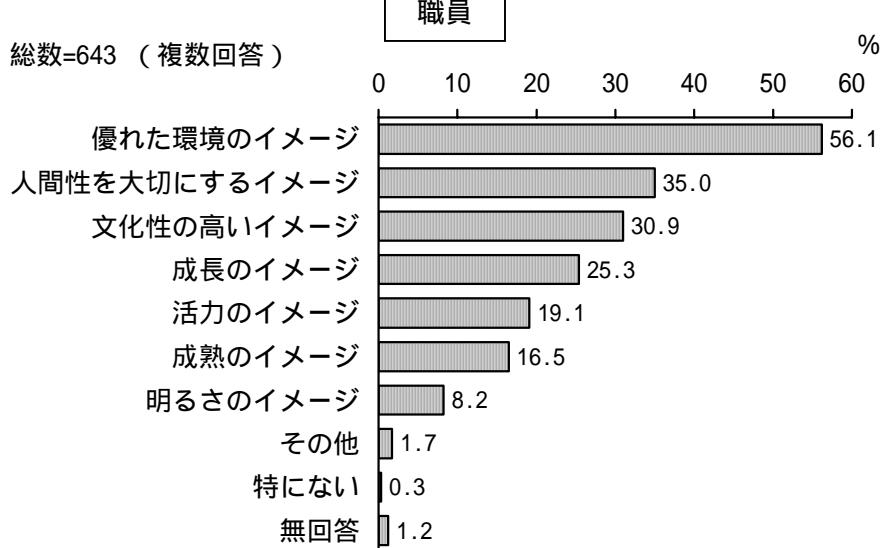
単位: %

1.発展的な	強く感じる	どちらとも言えない	そうは思わない	無回答
全体(4719)	36.4	48.1	14.2	1.4
20歳代	33.1	43.2	23.0	0.7
30歳代	33.1	53.5	13.4	0.0
40歳代	36.6	50.0	12.4	1.1
50～60歳代	43.4	43.4	9.0	4.1
さいたま市	34.5	50.0	14.3	1.2
隣接する市	36.7	46.9	14.3	2.0
県内他市町村	49.4	35.8	13.6	1.2
東京都	30.8	53.8	7.7	7.7
その他	75.0	25.0	0.0	0.0
4.自然豊かな	強く感じる	どちらとも言えない	そうは思わない	無回答
全体(4719)	34.4	48.8	15.4	1.4
20歳代	37.4	51.1	11.5	0.0
30歳代	29.7	54.7	15.1	0.6
40歳代	34.9	45.7	18.3	1.1
50～60歳代	36.6	43.4	15.9	4.1
さいたま市	34.3	48.6	16.1	1.0
隣接する市	34.7	55.1	6.1	4.1
県内他市町村	32.1	50.6	16.0	1.2
東京都	46.2	30.8	15.4	7.7
その他	75.0	0.0	25.0	0.0
8.文化的な	強く感じる	どちらとも言えない	そうは思わない	無回答
全体(4719)	34.5	54.4	9.3	1.7
20歳代	30.9	56.8	12.2	0.0
30歳代	36.0	54.7	9.3	0.0
40歳代	32.8	57.5	8.1	1.6
50～60歳代	37.9	48.3	8.3	5.5
さいたま市	33.3	56.1	9.2	1.4
隣接する市	34.7	53.1	8.2	4.1
県内他市町村	39.5	49.4	9.9	1.2
東京都	46.2	38.5	7.7	7.7
その他	50.0	50.0	0.0	0.0

将来のイメージ（問2）

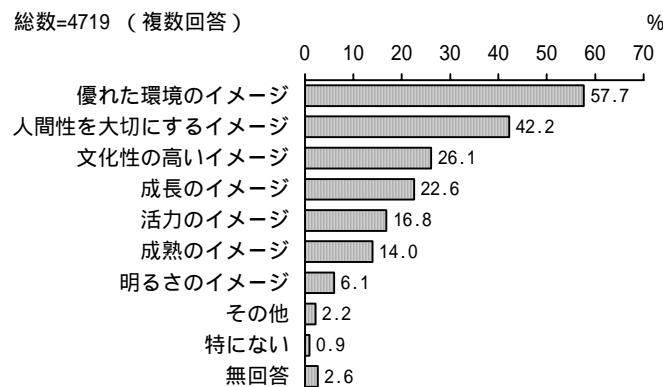
あなたにとって、今後のさいたま市に高めてほしいイメージはどのようなものですか。次の中から2つまで選んで下さい。

問2.今後高めてほしいイメージ



問2.今後高めてほしいイメージ

市民意識調査結果より



今後のさいたま市に求めるイメージは、快適、自然豊かな、潤いのあるなど、「優れた環境のイメージ」とする職員が56.1%と圧倒的に多く、あたたかい、親しみのあるなど、「人間性を大切にするイメージ」、美しい、文化的など、「文化性の高いイメージ」がこれに続いています。前問の「自然豊か」なイメージや「文化的な」イメージを今後も維持し続けるべきという意識が強いことがわかるとともに、現状ではあまり肯定的ではない「人間性」の側面について充実を望んでいるということが伺えます。また、市民意識調査の結果とほぼ同様の傾向を示しています。

年代別にみると、20～30歳代で「活力のイメージ」「明るさのイメージ」、40歳代以上で「優れた環境のイメージ」「人間性を大切にするイメージ」を求める傾向が強くなっています。

住所地別にみると、隣接する市に居住する職員に「成長のイメージ」「活力のイメージ」を求める傾向が強くなっています。

属性別集計表

単位: %

	優れた環境のイメージ	人間性を大切にするイメージ	文化性の高いイメージ	成長のイメージ	活力のイメージ	成熟のイメージ	明るさのイメージ	その他	特にない	無回答
全体	56.1	35.0	30.9	25.3	19.1	16.5	8.2	1.7	0.3	1.2
20歳代	48.9	23.0	26.6	34.5	25.2	17.3	13.7	2.9	0.0	0.7
30歳代	50.6	30.8	27.9	28.5	24.4	17.4	11.6	1.2	0.6	1.2
40歳代	62.4	40.3	33.3	18.8	12.4	16.1	5.4	2.2	0.5	2.2
50～60歳代	62.1	44.8	35.2	21.4	15.9	14.5	2.8	0.7	0.0	0.7
さいたま市	58.2	34.9	29.6	24.3	18.6	17.8	8.0	2.0	0.4	1.0
隣接する市	40.8	36.7	30.6	36.7	34.7	8.2	10.2	0.0	0.0	0.0
県内他市町村	50.6	32.1	35.8	25.9	17.3	14.8	8.6	1.2	0.0	3.7
東京都	61.5	53.8	46.2	23.1	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0
その他	75.0	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

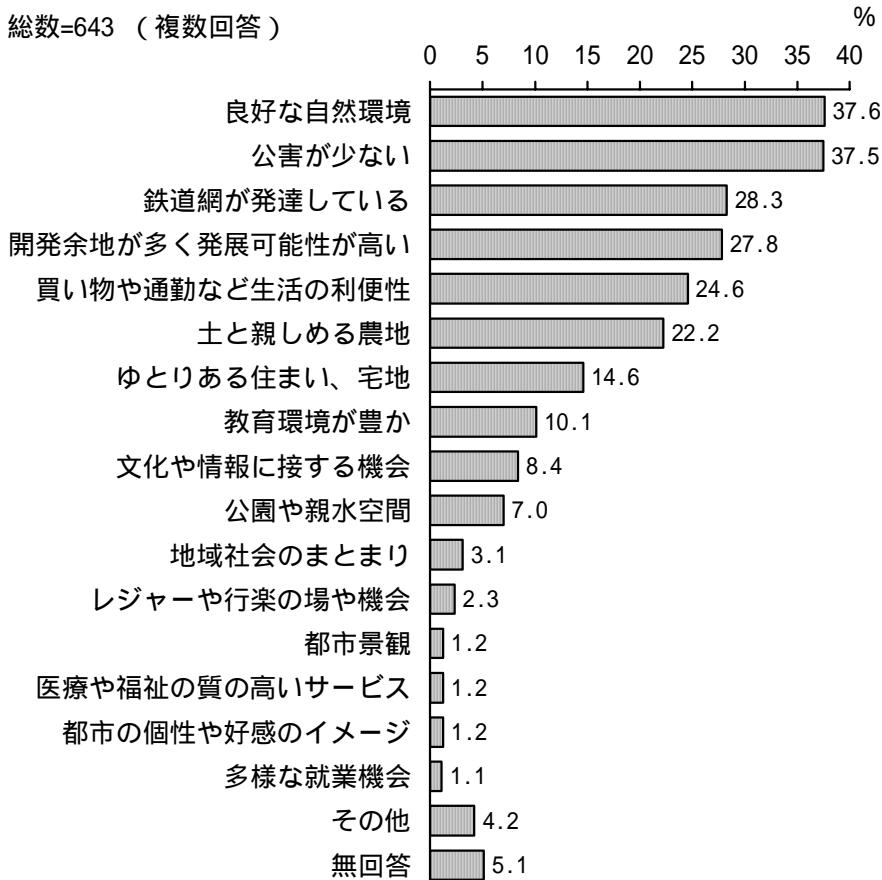
さいたま市の優れている点（問3）

あなたは、首都圏の政令指定都市（横浜市、川崎市、千葉市）と比較して、さいたま市がすぐれているのはどのようなことだと思いますか。次の3つまで選んで下さい。

問3.首都圏の政令指定都市よりさいたま市が優れていること

職員

総数=643（複数回答）

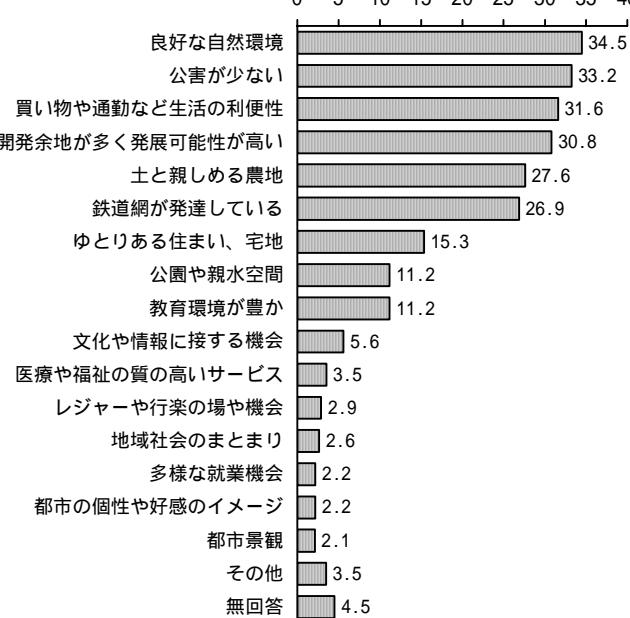


問3.首都圏の政令指定都市よりさいたま市

参考

総数=4719（複数回答）

市民意識調査結果より



さいたま市の優れた点は、「良好な自然環境」や「公害が少ないこと」など、環境面に対する評価が高いほか、「鉄道網の発達」や「開発余地が多く発展可能性が高い」といったこと、「買い物や通勤など生活の利便性」、「土と親しめる農地」などが続いている。総じて自然の豊かさと発展の可能性、利便性の高さを評価していることがわかります。この結果は、市民意識調査とほぼ同様の傾向を示しています。

年代別には、50～60歳代では上位3項目(自然環境、公害の少なさ、鉄道網)に、より意見が集中する傾向がみられます。

住所地別には、隣接する市以外の県内他市町村に居住する職員で、自然環境を評価する者が若干少なく、隣接する市に居住する職員で、公害が少ない点を評価する者が少なくなっています。

属性別集計表(主要な選択肢のみ)

単位: %

	良好な自然環境	公害が少ない	る鉄道網が発達してい	展可能性が高い	開発余地が多く発	活の利便性	買い物や通勤など生	土と親しめる農地	地ゆとりある住まい宅	教育環境が豊か	る機会	文化や情報に接す	公園や親水空間	り地域社会のまとま	や機会	レジャー・や行楽の場	都市景観	いサービス	医療や福祉の質の高	都市の個性や好感の	イメージ	多様な就業機会
全体	37.6	37.5	28.3	27.8	24.6	22.2	14.6	10.1	8.4	7.0	3.1	2.3	1.2	1.2	1.2	1.1						
20歳代	30.2	29.5	22.3	34.5	23.0	24.5	15.8	5.8	7.9	8.6	5.0	2.2	1.4	0.7	0.0	0.0						
30歳代	32.0	36.6	24.4	32.0	26.2	15.1	19.8	13.4	8.1	6.4	1.2	2.9	1.7	0.6	0.6	0.6						
40歳代	36.6	38.2	29.6	21.0	24.2	26.3	11.8	9.7	7.5	9.7	3.8	2.7	1.6	2.2	1.1	0.5						
50～60歳代	53.1	44.8	37.2	25.5	24.8	23.4	11.0	11.0	10.3	2.8	2.8	1.4	0.0	1.4	3.4	3.4						
さいたま市	37.3	38.0	29.2	26.5	25.7	21.0	13.5	11.0	9.0	7.1	3.5	2.2	1.2	1.0	1.0	1.0						
隣接する市	40.8	22.4	30.6	32.7	22.4	20.4	16.3	10.2	4.1	6.1	4.1	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0						
県内他市町村	30.9	43.2	29.6	33.3	18.5	27.2	12.3	3.7	7.4	7.4	1.2	1.2	2.5	3.7	2.5	2.5						
東京都	61.5	23.1	0.0	38.5	15.4	38.5	53.8	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0						
その他	75.0	50.0	0.0	0.0	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

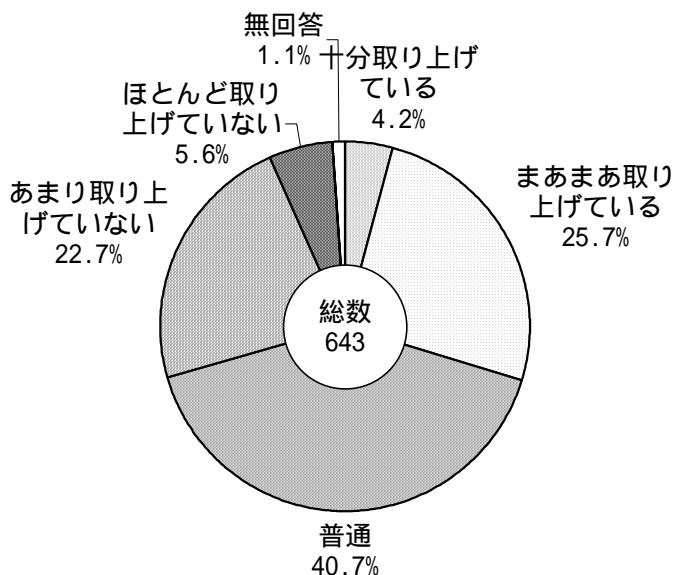
(2) 市役所の仕事について

市民意向反映に対する評価(問4)

あなたは、市役所は住民の要望や意見を十分に取り上げていると思いますか。次の中から1つ選んで下さい。

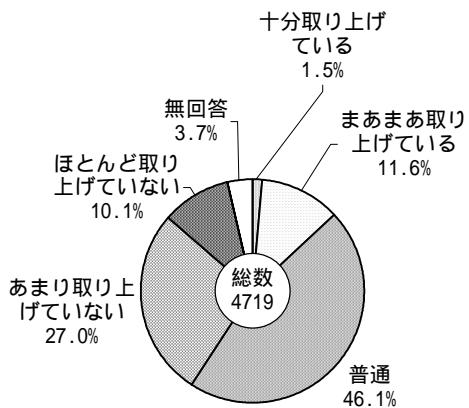
問4.市役所による住民の要望等の採用度

職員



参考
市民意識調査結果より

問39.市役所による住民の要望等の採用度



市が住民要望・意見を取り上げているかどうかという評価については、「普通」だという意見が40.7%で最も多くなっており、「十分取り上げている」、「まあまあ取り上げている」という意見と、「ほとんど取り上げていない」、「あまり取り上げていない」という意見がほぼ拮抗しており、どちらともいえないという現状となっています。この評価は、市民意識調査よりも若干高い評価となっており、

職員自らの評価と市民意識に若干のギャップがあることがわかります。

年代別には、20～30歳代の若い層で比較的厳しい評価となっており、年齢との相関関係が伺えます。

職種別には、消防職、事務職で厳しい評価となっており、保育職、医療職、教育職など、福祉施設や病院或いは学校で市民と直接接している職種での評価は比較的高くなっています。

属性別集計表

単位：%

	十分取り上げている	まあまあ取り上げている	普通	あまり取り上げていない	ほとんど取り上げていない	無回答	評価点
全体	4.2	25.7	40.7	22.7	5.6	1.1	0.00
20歳代	2.2	23.0	34.5	32.4	7.9	0.0	-0.21
30歳代	5.2	14.5	49.4	22.1	8.1	0.6	-0.13
40歳代	5.4	27.4	42.5	19.4	3.8	1.6	0.11
50～60歳代	3.4	39.3	33.8	18.6	2.8	2.1	0.23
事務職	3.3	25.3	38.5	25.8	5.8	1.3	-0.06
技術職	8.2	25.9	38.8	20.0	5.9	1.2	0.11
保育職	0.0	47.6	33.3	19.0	0.0	0.0	0.29
消防職	3.1	16.9	52.3	23.1	4.6	0.0	-0.09
医療職	4.3	30.4	47.8	13.0	0.0	4.3	0.27
教育職	6.3	43.8	31.3	6.3	12.5	0.0	0.25
技能労務職	6.9	24.1	51.7	10.3	6.9	0.0	0.14

評価点は、「十分取り上げている」～「ほとんど取り上げていない」を2点～～2点とし、加算した点数をサンプル数で除した平均点

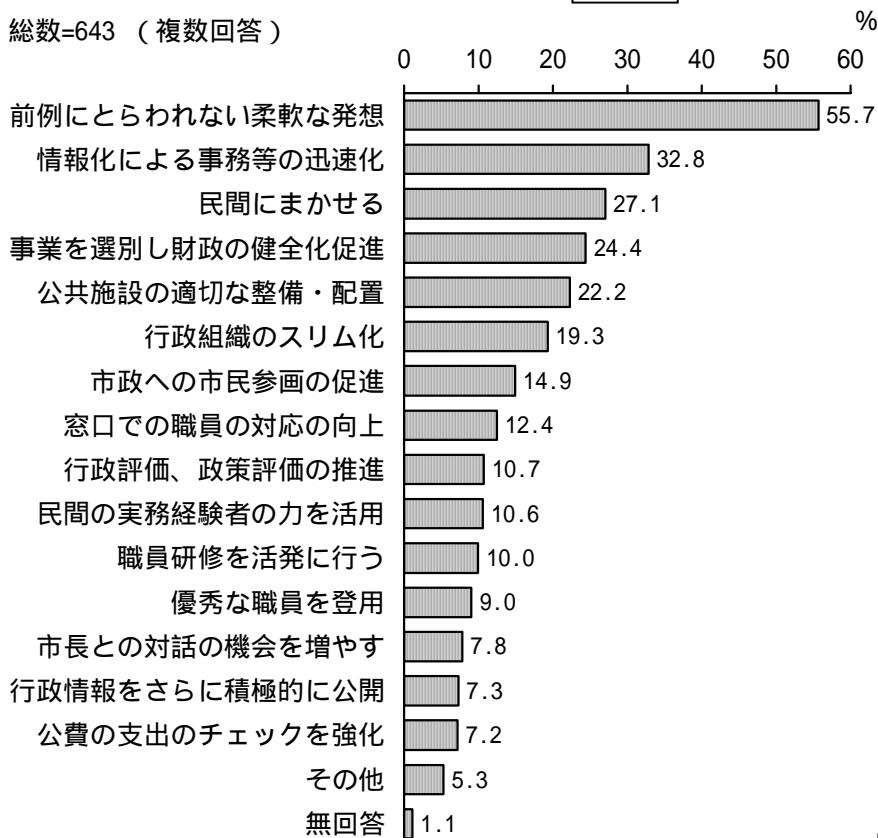
行政運営の改善策（問5）

あなたは、市役所の業務や組織などをより良くしていくためには、何をすることが重要だと思いますか。以下のなかから3つまで選んで下さい。

問5.市役所の業務や組織をより良くする方法

職員

総数=643（複数回答）



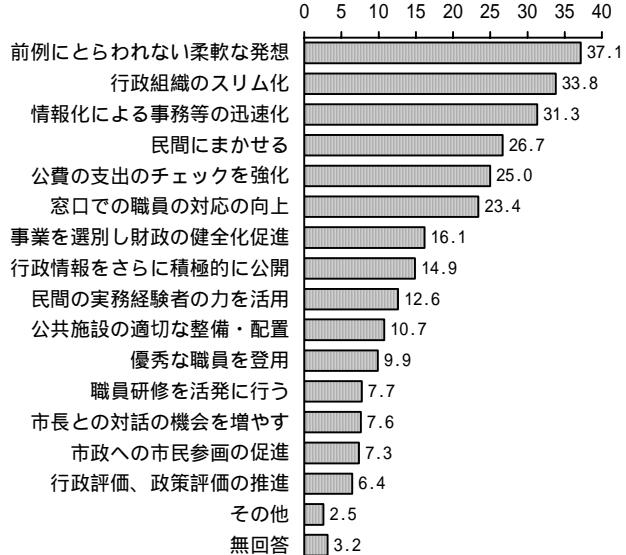
参考

市民意識調査結果より

問41.市役所の業務や組織をより良くする方法

総数=4719（複数回答）

%



市役所の業務や組織などの改善(行政改革)については、「前例にとらわれない柔軟な発想」が必要だとする意見が最も多く、市民意識調査結果と同様、新しい事にチャレンジするのをためらう傾向が強いことを改めるべきという意識が強いことがわかります。続いて、「情報化による事務等の迅速化」、「民間にまかせる」、「事業選別による財政の健全化」、「公共施設の適切な整備」などについての意見が比較的多く、市民意識調査で比較的多かった「行政組織のスリム化」、「公費支出のチェック」、「窓口での対応（応対）の向上」などの意見はあまり多くありませんでした。なお、市民参画については、市民意識調査結果に比べて、その重要性を指摘する声が多くなっています。

年代別には、20歳代で「民間実務経験者の活用や研修」、「優秀な職員の登用」などの指摘が比較的多いほか、「窓口での応対向上」についても、若い職員ほど重要だとする意見が多くなっています。また、30歳代以上の年代で柔軟な発想の重要性を指摘する声がより多く、事業選別による財政の健全化や市民参加、行政評価などについては、年代が高くなるにつれて、その重要性を指摘する声が多くなる傾向があります。

職種別には、事務職で民間にまかせることに積極的な傾向が見られるほか、保育職で公共施設の整備、消防職で情報化、医療職で柔軟な発想、技能労務職で職員研修について、それぞれ重視する傾向があり、さらに医療・教育・技能労務職で市民参加が重要とする声が多くなっています。

属性別集計表(主要な選択肢のみ)

単位: %

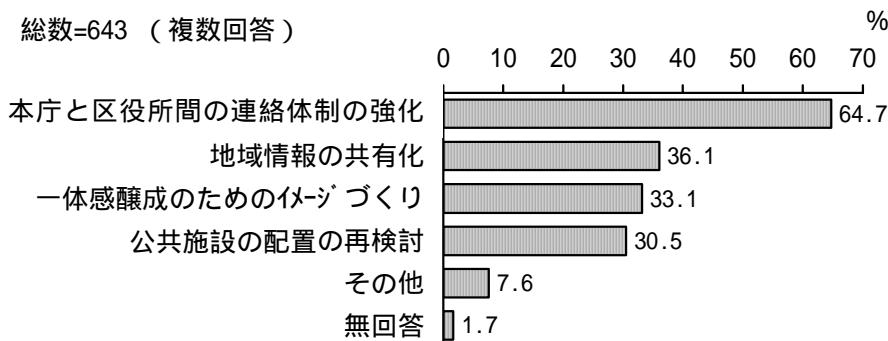
	ない柔軟な発想	前例にとらわれ	務情報等の迅速化による事	民間にまかせる	政の健全化促進	事業を選別し財	な整備配置	化行政組織のスリム	施設の適切	の促進	市政への市民参画	応の向上	窓口での職員の対	価の推進	行政評価、政策評	者の力を活用	民間の実務経験	に行う	職員研修を活発	用 優秀な職員を登	機会を増やす	市長との対話の	に積極的に公開	行政情報をさら	ツクを強化	公費の支出のチエ
全体	55.7	32.8	27.1	24.4	22.2	19.3	14.9	12.4	10.7	10.6	10.0	9.0	7.8	7.3	7.2											
20歳代	49.6	37.4	19.4	15.1	20.9	21.6	7.2	18.7	7.2	15.1	15.8	15.1	8.6	8.6	10.8											
30歳代	59.3	34.3	34.9	21.5	20.3	16.9	9.9	13.4	9.9	11.0	7.0	7.6	5.8	2.3	7.0											
40歳代	54.8	30.1	24.7	28.5	22.6	17.7	19.4	11.3	10.8	9.1	10.8	4.8	9.7	9.1	6.5											
50～60歳代	58.6	29.7	28.3	31.0	25.5	21.4	22.8	6.9	15.2	7.6	6.9	10.3	6.9	9.7	4.8											
事務職	55.2	32.2	33.4	26.3	19.2	19.7	13.4	11.4	12.4	11.4	7.3	9.4	7.1	7.1	5.6											
技術職	58.8	36.5	23.5	22.4	29.4	23.5	11.8	10.6	9.4	11.8	11.8	8.2	7.1	9.4	3.5											
保育職	57.1	28.6	4.8	28.6	38.1	4.8	19.0	28.6	0.0	4.8	19.0	4.8	4.8	9.5	19.0											
消防職	50.8	41.5	20.0	13.8	26.2	18.5	12.3	18.5	7.7	7.7	10.8	12.3	10.8	3.1	7.7											
医療職	69.6	21.7	17.4	21.7	17.4	13.0	30.4	8.7	17.4	17.4	17.4	4.3	4.3	4.3	13.0											
教育職	56.3	31.3	12.5	25.0	31.3	25.0	31.3	12.5	12.5	0.0	6.3	0.0	12.5	6.3												
技能労務職	44.8	31.0	3.4	24.1	20.7	6.9	31.0	13.8	3.4	6.9	24.1	10.3	17.2	17.2	20.7											

市民サービス向上のための課題（問6）

あなたは、本市が新たに合併して誕生した市として市民サービスをより向上させていくためには、どんなことが重要であると思いますか。以下のなかから2つまで選んで下さい。

問6.市民サービスをより向上させるための重要課題

総数=643（複数回答）



市民サービス向上のための課題については、「本庁と区役所間の連絡体制の強化」を必要とする声が圧倒的に多くなっています。このほか、「地域情報の共有化」、「一体感醸成のためのイメージづくり」、「公共施設配置の再検討」などが続きますが、この3つに大きな差はありません。

年代別には、それほど大きな差はありませんが、50～60歳代で「地域情報の共有化」を、40歳代及び50～60歳代で「一体感醸成のイメージづくり」などがそれ多くなる傾向にあります。

職種別には、保育所で「本庁と区役所間の連絡体制強化」を求める声がかなり強く、医療職や技能労務職で「地域情報の共有化」を求める声が多くなっています。また、消防職や技能労務職で「公共施設の配置の再検討」を求める声が多くなる傾向がみられます。

属性別集計表(主要な選択肢のみ)

単位: %

	本庁と区役所間の連絡体制の強化	地域情報の共有化	一体感醸成のためのイメージづくり	公共施設の配置の再検討	その他	無回答
全体	64.7	36.1	33.1	30.5	7.6	1.7
20歳代	66.2	36.0	22.3	30.9	12.9	0.7
30歳代	66.9	33.1	30.8	24.4	8.7	1.2
40歳代	64.5	33.9	38.7	30.1	4.8	3.2
50～60歳代	61.4	42.1	39.3	37.9	4.8	1.4
事務職	68.4	35.2	28.6	29.1	10.1	1.8
技術職	62.4	37.6	43.5	25.9	2.4	3.5
保育職	81.0	28.6	42.9	19.0	0.0	0.0
消防職	60.0	27.7	40.0	38.5	3.1	0.0
医療職	47.8	47.8	43.5	30.4	8.7	0.0
教育職	50.0	31.3	37.5	25.0	12.5	6.3
技能労務職	48.3	58.6	20.7	58.6	3.4	0.0

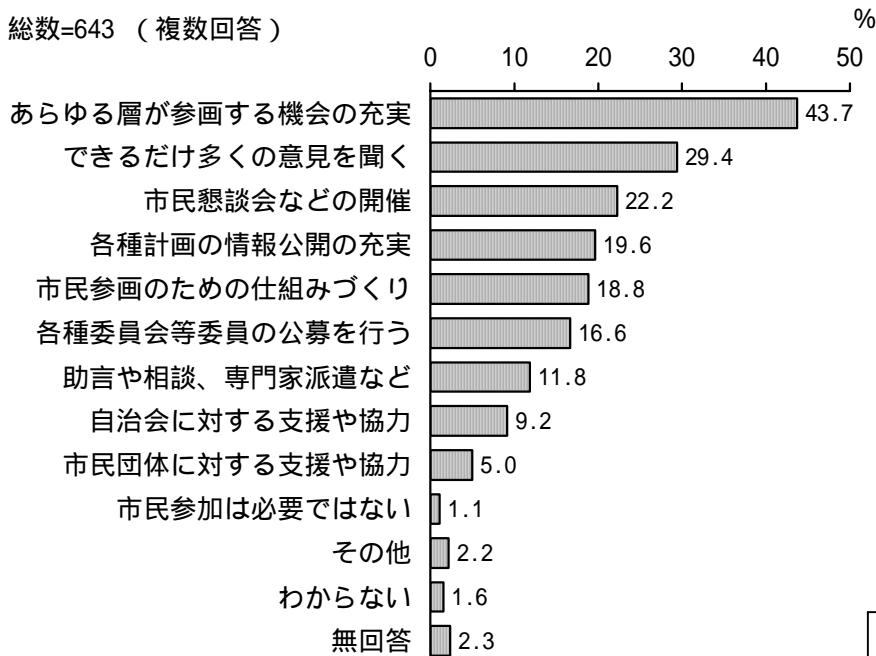
市民参加の促進策（問7）

あなたは、市政への市民参加をより活性化するために、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次のなかから2つまで選んで下さい。

問7.市政への市民参加活性化のための推進策

職員

総数=643（複数回答）

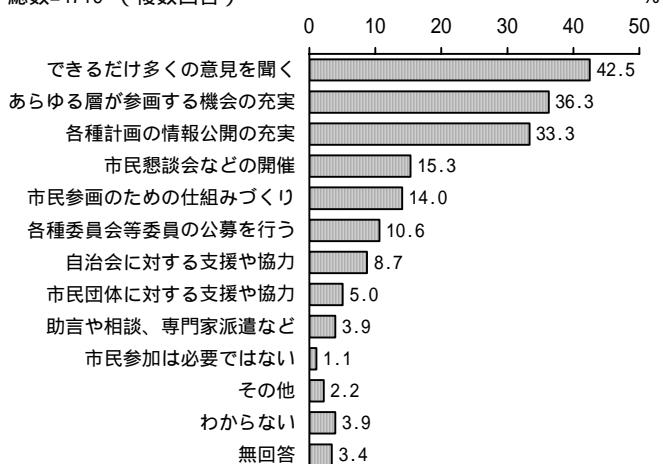


参考

市民意識調査結果より

問18.市政への市民参加活性化のための推進策

総数=4719（複数回答）



市民参加の促進策については、「あらゆる層の参画機会の充実」が43.7%で最も多く、続いて「できるだけ多くの意見を聞くべき」、「市民懇談会などの開催」などを求める声が多くなっています。市民意識調査との比較でも、順位に多少の違いはありますが、広聴や情報の公開がともに重要とする認識があることがわかります。

年代別には、20～30歳代で、「できるだけ多くの意見を聞くべき」という声が比較的多く、市民意識調査の結果に近いといえます。また、40歳代以上で「自治会に対する支援」が多くなる傾向があり

ます。

職種別には、技術職で自治会に対する支援、保育職で各種計画の情報公開、助言・相談等、消防職ができるだけ多くの意見を聞く、医療職で各種委員会等の公募、教育職で参画機会の充実、技能労務職で各種計画の情報公開をそれぞれ重要とする意見が多くなる傾向があります。

属性別集計表(主要な選択肢のみ)

単位: %

	する機会の充実	あらゆる層が参画	見を聞く	できるだけ多くの意	開催	市民懇談会などの	開の充実	各種計画の情報公	仕組みづくり	市民参画のための	の公募を行う	各種委員会等委員	派遣など	助言や相談、専門家	援や協力	自治会に対する支	市民団体に対する	その他	わからない	市民参加は必要で	無回答
全体	43.7	29.4	22.2	19.6	18.8	16.6	11.8	9.2	5.0	2.2	1.6	1.1	2.3								
20歳代	40.3	40.3	23.0	18.7	18.7	14.4	12.9	7.9	3.6	2.9	2.2	0.0	0.0								
30歳代	43.6	30.8	19.2	19.2	16.9	14.0	12.2	5.2	4.7	2.9	1.7	1.7	2.3								
40歳代	44.1	23.7	25.3	19.9	16.7	19.4	11.8	12.4	4.3	2.2	1.1	1.6	3.2								
50～60歳代	46.9	24.8	21.4	20.0	24.1	18.6	10.3	10.3	7.6	0.7	1.4	0.7	3.4								
事務職	47.3	27.3	22.3	18.2	19.2	17.2	11.1	6.3	5.6	2.3	2.3	0.5	2.5								
技術職	35.3	22.4	27.1	23.5	15.3	18.8	7.1	20.0	8.2	1.2	0.0	3.5	2.4								
保育職	42.9	23.8	23.8	33.3	14.3	9.5	28.6	9.5	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0								
消防職	33.8	47.7	20.0	9.2	24.6	12.3	15.4	9.2	1.5	3.1	1.5	1.5	0.0								
医療職	39.1	30.4	17.4	21.7	8.7	30.4	21.7	13.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0								
教育職	56.3	31.3	6.3	6.3	25.0	6.3	18.8	12.5	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0							6.3	
技能労務職	41.4	37.9	27.6	34.5	20.7	13.8	3.4	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4								

(3) 地区のまちづくりとさいたま市の将来像について

まちづくりの重点（問8）

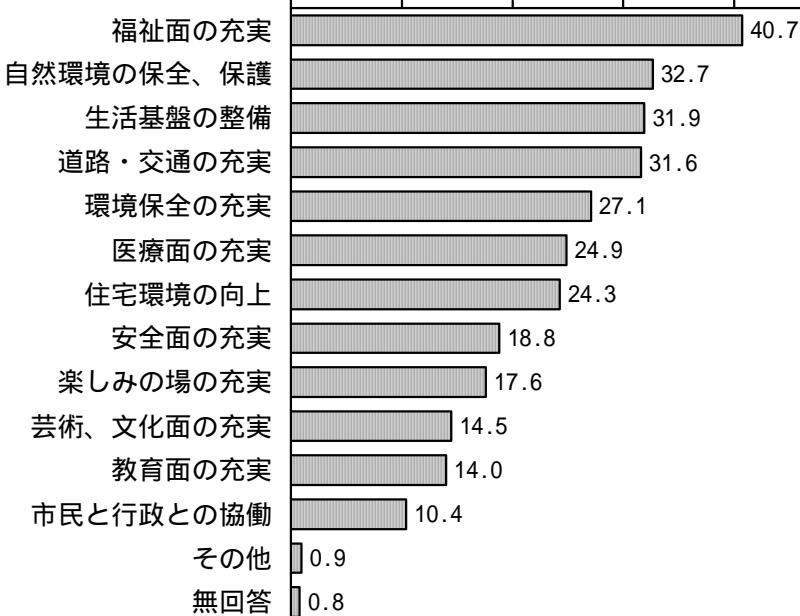
今後、20年程度の先を見通した上で、市民生活の向上のために特に重視すべき課題は何でしょうか。次の中から3つまで選んで下さい。

問8.20年程度先を見通した重点施策

職員

総数=643（複数回答）

%



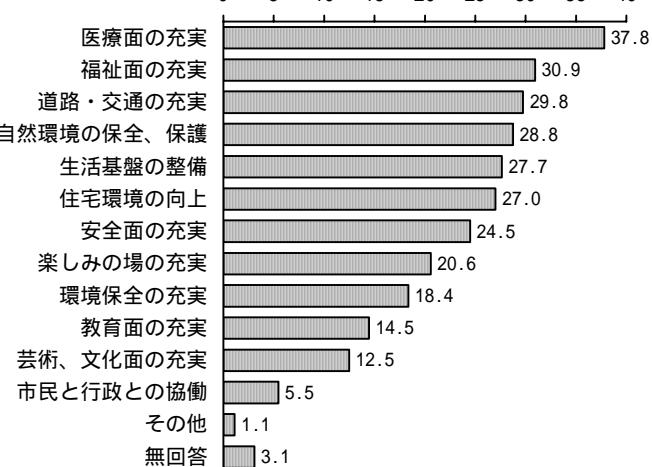
参考

問42.居住地区の重点施策

市民意識調査結果より

総数=4719（複数回答）

%



今後のまちづくりについては、「自然環境の保全・保護」、「生活基盤の整備」、「道路・交通の充実」、「環境保全」、「医療面の充実」、「住宅環境の向上」など取り組むべき課題は多岐に渡っていますが、「福祉面の充実」をあげる声が最も多くなっています。市民意識調査との比較では、とりわけ市民に、「医療面の充実」を求める声がより強く、課題に対しての差が見られます。

年代別には、20～30歳代で「楽しみの場の充実」、30～40歳代で「生活基盤の整備」、40歳代以上で「福祉面の充実」「自然環境の保全」を重視する傾向が強くなっています。

職種別には、技術職で「道路・交通の充実」、保育職で「福祉面の充実」「環境保全の充実」「安全面の充実」、消防職で「生活基盤の整備」「道路・交通の充実」「住宅環境の向上」「安全面の充実」、医療職で「福祉面の充実」「環境保全の充実」「医療面の充実」、教育職で「福祉面の充実」「芸術・文化面の充実」「教育面の充実」、労務職で「自然環境保全」などがそれ多くなっており、職務内容を反映している面が伺えます。

属性別集計表(主要な選択肢のみ)

単位: %

	福祉面 の充実	自然環 境の保 全、保護	生活基 盤の整 備	道路・交 通の充 実	環境保 全の充 実	医療面 の充実	住宅環 境の向 上	安全面 の充実	樂しみ の場の 充実	芸術、文 化面の 充実	教育面 の充実	市民と 行政と の協働
全体	40.7	32.7	31.9	31.6	27.1	24.9	24.3	18.8	17.6	14.5	14.0	10.4
20歳代	36.0	25.2	28.1	33.8	33.1	22.3	27.3	15.1	35.3	18.0	7.2	7.2
30歳代	37.2	26.7	33.1	26.7	28.5	26.7	30.2	22.1	20.9	13.4	14.0	10.5
40歳代	45.7	36.0	35.5	30.1	25.3	24.2	21.5	19.9	7.0	11.3	16.7	10.8
50～60歳代	43.4	42.8	29.7	37.2	21.4	25.5	17.9	17.2	10.3	15.9	17.2	13.1
事務職	38.7	34.2	29.9	33.4	26.6	22.3	24.6	17.5	18.7	15.9	14.7	11.4
技術職	36.5	35.3	38.8	37.6	25.9	25.9	21.2	16.5	12.9	15.3	8.2	10.6
保育職	71.4	14.3	23.8	9.5	42.9	14.3	23.8	33.3	19.0	4.8	19.0	9.5
消防職	30.8	18.5	43.1	36.9	20.0	33.8	32.3	30.8	27.7	1.5	6.2	9.2
医療職	69.6	39.1	26.1	8.7	39.1	43.5	17.4	17.4	4.3	13.0	8.7	8.7
教育職	68.8	25.0	12.5	25.0	6.3	31.3	18.8	18.8	0.0	37.5	50.0	6.3
技能労務職	44.8	44.8	41.4	20.7	37.9	27.6	17.2	10.3	10.3	10.3	20.7	3.4

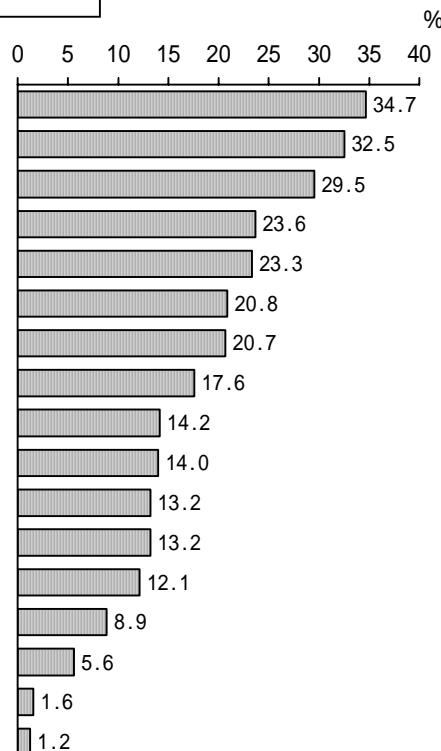
目指すべき将来像（問9）

あなたは、さいたま市が政令指定都市として今後どのような将来像を目指すべきと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを3つまで選んで下さい。

問9.今後の将来像

職員

総数=643（複数回答）

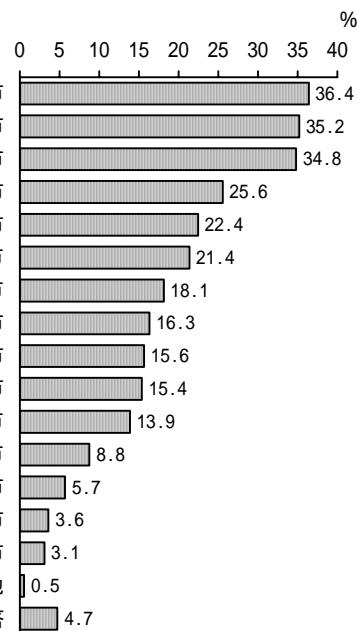


参考

市民意識調査結果より

問44.今後の将来像

総数=4719（複数回答）



さいたま市が今後目指すべき将来像については、福祉・環境などの大きな課題に取り組む「質の高い生活都市」を求める声が多いほか、障害者や高齢者が安心して暮らせる「保健・福祉の充実した都市」、水辺や大規模な公園・樹林地を活かした「みどり豊かな都市」に対する支持が多く、続いて、ゆとりある住宅地やすぐれた都市景観を備えた「快適性の優れた都市」、環境保全に力を入れた「環境にやさしい都市」、交通結節点とその利便性を活かした「交通の要となる都市」、安心して子どもを産み育てるこことできる「子育ての楽しい都市」などの将来像が比較的多くなっています。市民意識調査との比較では、職員は保健・福祉面をより重視し、市民は環境面をより重視する傾向があるといえます。

年代別には、50～60歳代で「保健・福祉の充実した都市」を求める声がより多くなっている一方、20～30歳代で「子育ての楽しい都市」を求める声がより多くなっています。

職種別には、保育職で「子育ての楽しい都市」、医療職で「保健・福祉の充実した都市」、教育職で「質の高い生活都市」、「芸術・文化の香り高い都市」など、やはり職務内容を反映する面がみられます。

属性別集計表(主要な選択肢のみ)

単位: %

	市質の高い生活都	保健都市	保健福祉の充実	市みどり豊かな都	都市快適性の優れた	市環境にやさしい都	都市交通の要となる	市子育ての楽しい都	担う都市	首都圏の一翼を	高い都市	芸術文化の香り	を発揮する都市	市資源循環型の都	んな都市	スポーツ交流の盛	市民活動の活発	発揮する都市	研究開発機能を	グローバルな都市
全体	34.7	32.5	29.5	23.6	23.3	20.8	20.7	17.6	14.2	14.0	13.2	13.2	12.1	8.9	5.6					
20歳代	33.8	25.2	23.0	23.0	21.6	20.1	23.0	15.8	17.3	10.8	18.0	17.3	13.7	7.2	9.4					
30歳代	33.7	28.5	28.5	26.7	19.2	22.1	28.5	17.4	9.3	15.7	14.5	12.2	11.6	7.6	4.7					
40歳代	34.4	38.7	31.2	21.0	25.3	21.5	18.8	15.6	12.4	16.7	14.5	13.4	10.2	7.5	3.8					
50～60歳代	36.6	36.6	35.2	24.1	27.6	19.3	11.7	22.1	18.6	11.7	4.8	10.3	13.8	13.8	5.5					
事務職	33.2	30.1	31.1	27.3	22.8	21.0	18.5	17.5	16.2	12.7	12.9	13.7	11.4	9.1	4.8					
技術職	27.1	32.9	36.5	18.8	25.9	28.2	17.6	17.6	14.1	15.3	9.4	16.5	12.9	12.9	4.7					
保育職	33.3	47.6	19.0	14.3	33.3	9.5	61.9	9.5	4.8	0.0	19.0	9.5	14.3	4.8	0.0					
消防職	38.5	32.3	21.5	23.1	18.5	18.5	15.4	23.1	6.2	24.6	13.8	9.2	12.3	6.2	15.4					
医療職	47.8	56.5	26.1	8.7	26.1	0.0	34.8	13.0	4.3	17.4	17.4	4.3	21.7	8.7	4.3					
教育職	56.3	50.0	18.8	18.8	0.0	25.0	18.8	6.3	31.3	6.3	0.0	18.8	6.3	18.8	6.3					
技能労務職	41.4	24.1	24.1	13.8	31.0	24.1	37.9	24.1	10.3	20.7	17.2	13.8	10.3	0.0	3.4					

将来像実現の方策（問10）

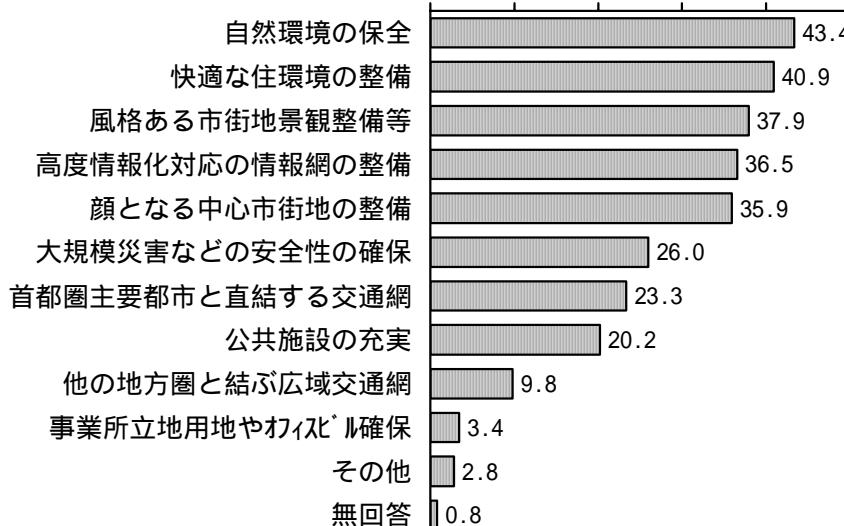
将来像の実現に向けて、どのような施策・条件整備が必要だと思いますか。次の中から重要と思うものを3つまで選んで下さい。

問10. 将来像実現のために重要な施策・条件整備

総数=643（複数回答）

職員

%

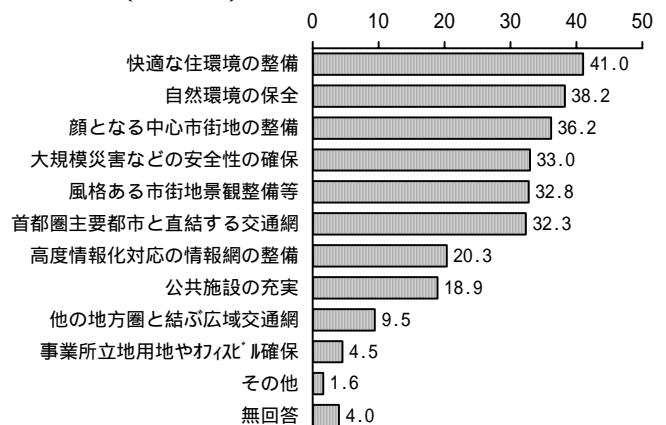


参考

市民意識調査結果より

問45. 将来像実現のための重要な施策・条件整備

総数=4719（複数回答）



前の設問では、「質の高い生活都市」「保健・福祉の充実した都市」という将来像が強く求められていることがわかりましたが、こうした将来像を実現するための施策や条件整備としては、「自然環境の保全」が第一にあげられており、さらに「快適な住環境の整備」、「風格ある市街地景観の整備等」、「高度情報化対応の情報網の整備」、「顔となる中心市街地の整備」などが重要だという意見が多くなっています。市民意識調査との比較では、職員に高度情報化への対応を重視する傾向があり、市民では災害対策など安全性の確保を重視する傾向が強くなっています。

年代別には、特筆すべき差異はみられませんが、職種別には、消防職で安全性の確保、医療職で自然環境の保全、教育職で高度情報化対応などがより強く求められる結果となっています。

属性別集計表

単位: %

	自然環境の保全	快適な住環境の整備	風格ある市街地景観整備等	高度情報化対応の情報網の整備	顔となる中心市街地の整備	大規模災害などの安全性の確保	首都圏主要都市と直結する交通網	公共施設の充実	他の地方圏と結ぶ広域交通網	事業所立地用地やオフィスビル確保	その他	無回答
全体	43.4	40.9	37.9	36.5	35.9	26.0	23.3	20.2	9.8	3.4	2.8	0.8
20歳代	44.6	34.5	33.1	37.4	35.3	25.2	23.7	25.9	13.7	2.9	3.6	0.7
30歳代	38.4	41.9	39.5	32.6	38.4	25.6	24.4	17.4	8.1	4.7	2.3	1.2
40歳代	44.1	45.2	38.7	40.3	28.0	24.7	23.7	19.4	9.1	2.2	2.7	0.5
50~60歳代	47.6	40.0	39.3	35.9	44.1	29.0	21.4	18.6	9.0	4.1	2.8	0.7
事務職	45.1	41.0	41.5	37.5	35.7	22.3	23.0	18.0	10.1	3.3	2.8	0.5
技術職	42.4	37.6	35.3	35.3	45.9	17.6	31.8	25.9	10.6	3.5	2.4	0.0
保育職	52.4	52.4	14.3	33.3	23.8	33.3	9.5	23.8	4.8	4.8	4.8	4.8
消防職	30.8	35.4	32.3	40.0	29.2	49.2	21.5	12.3	9.2	1.5	3.1	3.1
医療職	60.9	52.2	34.8	21.7	43.5	26.1	0.0	34.8	0.0	0.0	4.3	0.0
教育職	37.5	50.0	31.3	50.0	31.3	25.0	25.0	37.5	6.3	0.0	0.0	0.0
技能労務職	37.9	34.5	34.5	31.0	31.0	44.8	31.0	27.6	10.3	10.3	3.4	0.0

(4) 自由意見の要約

数多くの自由意見が寄せられましたが、その概要は次のとおりです。

[都市整備・社会基盤]

都市基盤・社会基盤に関連しては、道路・交通の整備が多く、そのほか、下水道や公園など生活基盤の整備、中心部と郊外部の整備水準の均衡などについての意見がみられました。

駅周辺や主要道路は常に渋滞しているので交通機関を充実し、車社会ではない中心市街地の整備をする。

車優先の道路づくりでなく、歩行者、自転車専用道路による交通ネットワーク形成を図る。

道路整備において、一般道路と都市計画道路等のネットワークを考え、長期計画的な整備を行う。また、東西方向の交通の整備が必要だ。

市内の多くの道路は道が非常に狭く危険ヶ所が多く、幹線的な道路も幅を広げている工事を行つても車の通行を考えているだけなので、人が安全に歩けるような道路整備を進めるべきだ。

区画整理事業の推進、下水道、公園など生活インフラの整備を進める。

市内各地区のバランスと横の繋がりのあるまちづくり、市の中心となるべき地区の設定、整備が必要と考える。

隣接市境の居住者と中心部の住環境の差があり、郊外の環境整備にもっと目を向けたまちづくりを考える必要がある。

[環境]

環境については、ゆとりと自然に恵まれたまちづくりを目指す意見が多く見られました。

自然を生かしたまちづくり、ゆとりあるまちづくり、落ち着きのある緑豊かな美しい街をめざす。見沼用水の乱開発をやめ、その地域の自然を永久的に残す。人工的な自然をつくるのではなく、そのままの自然を残す。

生ゴミを焼却するだけでなく、堆肥などを利用する研究を進める。

職員、市民全てが意識を持って、環境に配慮したまちづくりに取り組むことが重要だ。

超高層ビルが立ち並ぶ大都市的なまちづくりより、整備された都市基盤の中に見沼たんぼなど自然が残り、福祉が充実した住環境として満足度の高いまちづくりを目指す。

[産業]

産業については、さいたま市の立地条件などの特性を生かした振興、中心市街地活性化の問題などの意見が見られました。

さいたま市にとって情報化が進めば首都圏からの本社事務所移転もありえる可能性を持ち、ソフトウェア等の産業は公害等が発生しないので住環境を大事にするさいたま市にとって重視すべき産業と言える。

武蔵浦和や南浦和は千葉県と東京西部との鉄道結節点であるので、情報産業等、創造的産業の集積地となるよう環境を整えていくのがよい。

郊外に大型店舗が乱立してきているため、中心市街地の商店街の寂れを止める。早急に中心市

街地を整備する必要がある。

市民が職・住を市内で出来るように、商・工業や情報及び産業の育成・誘致をしていく。

〔教育・文化〕

教育・文化に関連しては、文化性の向上やスポーツの振興に関連する意見が見られました。

文化人が多く住む都市であり、こうした文化人が地域住民とともに活動できる場をつくることが、生涯学習や芸術・文化活動が盛んな「芸術文化のかおり高い都市」に通じていくと思う。

自然環境を考えた、芸術・文化の香りのする調和のとれたまちづくりを進める。

大宮アルディージャ、浦和レッズを軸としたサッカーを中心に多くの市民がスポーツに参加できるようなスポーツのもつ活力を生かしたまちづくりを進める。

緑豊かな都市で、子どもたちがのびのびと運動や勉強、遊びのできる施設を整備していく。

より住みやすい、居心地のよい街として成長するためにには住環境、みどりの保全、教育(子育て)、文化、スポーツに力を入れるべきだ。

〔保健・福祉・共生〕

保健・福祉や男女共同参画に関連しては、高齢者や障害者の生活しやすい環境づくり、子育て支援についての意見が多くみられました。

高齢者や障害者が安心して暮らせるよう、住環境の整備を進める。

高齢者が生活しやすい環境と、子供を安心して生み育てるこことできる環境が必要。

働く女性が増えていく状況のなかで、待機児の解消や、公立保育園の早朝及び夜間の延長、駅に隣接型の保育園や幼稚園の整備など、子育てがしやすい施設(保育)環境保育の充実を図る。

保育施設、医療・福祉施設を整える必要がある。特に救急医療施設が少ないので早急に対応することが必要だ。

〔行政運営〕

行政運営に関しては、職員の資質向上についての意見が多く見られました。また、情報化の推進も指摘されています。

政令指定都市として遜色のない市民サービス、行政を行うには、職員の資質向上が重要。そのため、専門職や技術職を増やす、組織を充実する、高等教育機関等と連携した多様な研修機会を設けるなどの方策が必要。

行政を充実させるには、職員の意識の高揚が不可欠で、市民の目線で行政に携わることが最も重要なことだ。

市の職員数は課の仕事量や内容に応じて人数を決め、現場の職員の意見をもっと聞き入れなければ十分な市民サービスが適切にできない。行政のスリム化はサービス低下を招くおそれがある。市の上層部は、市民の声や実際に窓口業務をしている職員の声をもっと耳に入れ、市民の要望や意見を十分に知ることが必要だ。

国、県、市町村、民間等への人事交流を活発にして職員の活性化をする必要がある。

効率的な行政運営に努めつつ政令指定都市に向けた移譲事務も鑑み、事務事業について全般的な

見直しを行う必要があると思う。

合併、政令市と市民のとまどいも多いと思うのでわかりやすくスマートな行政業務に努め、市民と接する窓口の充実を図りたい。

区役所内での密なる連携、区役所と市役所間の連携、また地域に密着した区役所として市民が安心、快適な生活が送れるよう努力したい。

各行政区の事務力を高めるため、各区・本庁のオンラインによる情報の共有化、ペーパーレス化、申請の電子受付などが必要だ。

市民への情報提供を市報以外にインターネットや専門の窓口を設けた方がよい。

〔市民参加〕

市民参加については、市民の意見、意向を踏まえたまちづくりの推進の重要性を指摘する意見が大半を占めました。

三市の合併は市民の意見を充分に反映したものでなく、市の運営もしっくりしてないので全体的視野を持ったまちづくり計画を立て、市民のプロフェッショナルな知の財産を生かし取り入れながら計画をつくることが大切。

市民への一方的なサービスの提供ではなく、市民とコミュニケーションをとりながらのまちづくりを進めていくことが、今後のさいたま市に求められている。

合併して行政サービスの質が落ちた、性急な政令指定都市移行だったと言われないよう、市民の要望や意見を充分とりあげ、職員一人一人が市民からどのような要望がでているのかもっと知る必要があると感じます。

〔イメージ〕

さいたま市のイメージについては、その必要性、醸成を指摘する意見が大半を占めています。

さいたま市は、これと言った特徴のないベットタウンというイメージが強いので、日本全国に誇れるもの（盆栽のある村等）を整備するなどして、他市、他県から遊びに来るような魅力あるまちづくりをめざしたい。

さいたま市の顔といえるイメージを持つべきであるが、それは現在のさいたま市の長所を伸ばしたもので、人工的に作り出せるものではないので本市の長所は何かを検討すべきである。

政令指定都市移行に向けて自治体としてのC I活動や先駆的な施策（ワンストップ窓口サービス・G I S活用による情報化etc）を積極的に進めて行くべきだ。

新市として融合していくために、市民参加のイベントを開催し、意見交流をしていくのがよい。見沼たんぽ等の「緑」をシンボルカラーに用いて、景観の統一感をもたせるなど、外見的魅力も必要だと思う。

さいたま市といえば文化都市とか、大都市でも優れた自然環境とか、教育都市のイメージ等、政令指定都市としてのさいたま市の顔を明確にしていく必要がある。

〔都市づくりの方向性〕

市政全般にわたる都市づくりの方向性については、質の高い都市の形成や旧3市のよい面を発揮したまちづくりに関する意見が多く見られました。

首都圏にはない「21世紀の質の高い生活都市」を創造することが適切である。

さいたま市の長所である交通の要、自然環境、教育、防災等の面をのばし、質の高い政令指定都市を目指したい。

ソフト面では市職員の資質向上に取り組み、区役所においては総合窓口的なものを実施できるよう以し、ハード面では生活道路や交通網の整備、河川の整備などを進め、安心して快適に暮らせる住環境の整備が必要である。

旧市で抱えていた課題は新市においても進めていく必要があり、旧市レベルでの地域性の差を無くし、均整のとれたまちづくりを進めることができることをさいたま市全体のレベルアップにつながると思う。旧3市の特徴を生かしたまちづくりが必要であり、子供と高齢者に優しい街、都市基盤整備、IT情報通信基盤の整備、就業施設の誘致、整備、文化、スポーツに親しめる環境整備などを進めなければならない。

雇用対策、環境対策、ゴミ対策に重点をおくべきだ。

埼玉の顔となるよう文化・経済・福祉・防災等バランスのとれた街になればよい。

文化教育・福祉・環境に充分に力を注ぎ、大都市として発展していくまちづくりをしたい。

新市的一体感を確立し、規模の拡大や開発だけにとらわれず、自然環境や教育・福祉の充実したまちづくりを進めたい。

資料

(調査表)

さいたま市総合振興計画に関する職員意識調査

現在、本市では、新しい総合振興計画の策定を進めております。この総合振興計画が、市民はもとより直接行政に携わる職員の意識を十分反映させたものとなるよう、職員の皆様に対しアンケート調査を実施することとしました。

ご多忙の折りとは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、是非とも御協力下さいますようお願い申し上げます。

平成 13 年 11 月

総合政策部長

ご記入にあたって

- ・この調査では、市職員の中から無作為抽出により 800 名を対象者として選びました。
 - ・回答は、直接、この用紙に記入して下さい（番号を で囲んで下さい）。
 - ・回答をご記入の後、11 月 20 日（火）までに企画調整課に提出して下さい。
- このアンケートについてのお問い合わせは、下記へお願ひいたします。

総合政策部 企画調整課企画係 内線 2113 ~ 2115

あなたご自身についておたずねします。

性別	1. 男性	2. 女性
年齢	1. 10 歳代 2. 20 歳代	3. 30 歳代 4. 40 歳代 5. 50 歳代(60 歳含む)
現住所	1. さいたま市 2. さいたま市に隣接する市	3. 県内その他の市町村 4. 東京都 5. その他
職種	1. 事務職 2. 技術職 3. 保育職	4. 消防職 5. 医療職 6. 教育職 7. 技能労務職

1. さいたま市のイメージについておたずねします。

問1. あなたは、さいたま市をどのように感じていますか。次の 1 ~ 14 のそれぞれについて、該当するものを 1 つ選んで下さい。

項目	イメージの強さ 強く感じる 1	どちらとも言えない 2	そうは思わない 3
1. 発展的な	1	2	3
2. 活気のある	1	2	3
3. 快適な	1	2	3
4. 自然豊かな	1	2	3
5. 潤いのある	1	2	3
6. 落ち着いた	1	2	3
7. 美しい	1	2	3
項目	イメージの強さ 強く感じる 1	どちらとも言えない 2	そうは思わない 3
8. 文化的な	1	2	3
9. あたたかい	1	2	3
10. 開放的な	1	2	3
11. 沈滞した	1	2	3
12. 雜然とした	1	2	3
13. 遅れた	1	2	3
14. 閉鎖的な	1	2	3

問2．あなたにとって、今後のさいたま市に高めてほしいイメージはどのようなものですか。次の中から2つまで選んで下さい。

- 1．発展的、先進的など「成長のイメージ」
- 2．活気のある、にぎやかななど「活力のイメージ」
- 3．快適、自然豊かな、潤いのあるなど、「優れた環境のイメージ」
- 4．落ち着き、ゆとりなど、「成熟のイメージ」
- 5．美しい、文化的など、「文化性の高いイメージ」
- 6．あたたかい、親しみのあるなど、「人間性を大切にするイメージ」
- 7．はなやか、開放的など、「明るさのイメージ」
- 8．その他()
- 9．特はない

問3．あなたは、首都圏の政令指定都市（横浜市、川崎市、千葉市）と比較して、さいたま市がすぐれているのはどのようなことだと思いますか。次の中から3つまで選んで下さい。

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1．多様な就業機会に恵まれていること | 10．文化や情報に接する機会に恵まれていること |
| 2．ゆとりある住まい、宅地に恵まれていること | 11．買い物や通勤など生活の利便性が高いこと |
| 3．良好な自然環境が残されていること | 12．地域社会のまとまりがあること |
| 4．都市景観がすぐれていること | 13．医療や福祉の質の高いサービスが受けられること |
| 5．公園や親水空間に恵まれていること | 14．開発余地が多く発展可能性が高いこと |
| 6．土と親しめる農地が残されていること | 15．鉄道網が発達していること |
| 7．公害が少ないこと | 16．都市の個性や好感の持てるイメージ |
| 8．教育環境が豊かであること | 17．その他() |
| 9．レジャーや行楽の場や機会に恵まれていること | |

2．市役所の仕事についておたずねします。

問4．あなたは、市役所は住民の要望や意見を十分に取り上げていると思いますか。次の中から1つ選んで下さい。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1．十分に取り上げている | 4．あまり取り上げていない |
| 2．まあまあ取り上げている | 5．ほとんど取り上げていない |
| 3．普通と思う | |

問5．あなたは、市役所の業務や組織などをより良くしていくためには、何をすることが重要だと思いますか。以下の中から3つまで選んで下さい。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1．行政組織をスリムにする | 9．公費の支出のチェックを強化する |
| 2．情報化を進め事務や申請手続きの迅速化を図る | 10．事業を選別し、財政の健全化を進める |
| 3．民間でできることは民間にまかせる | 11．行政評価、政策評価を進める |
| 4．民間の実務経験者の力を活用する | 12．行政情報をさらに積極的に公開する |
| 5．優秀な職員を登用する | 13．公共施設の適正な整備・配置を進める |
| 6．職員研修を活発に行う | 14．市政への市民参画を促す |
| 7．前例にとらわれない柔軟な発想で仕事をする | 15．市民と市長との対話の機会を増やす |
| 8．窓口での職員の対応を向上させる | 16．その他() |

問6．あなたは、本市が新たに合併して誕生した市として市民サービスをより向上させていくためには、どのようなことが重要な課題であると思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

- 1．本庁と総合行政センター(区役所)及び総合行政センター(区役所)間での連絡体制の強化
- 2．地域情報の共有化
- 3．公共施設の配置の再検討
- 4．新市としての一体感を醸成するためのイメージづくり
- 5．その他()

問7．あなたは、市政への市民参加をより活性化するために、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中から2つまで選んで下さい。

- 1．アンケート等によりできるだけ数多くの市民の意見を聞くこと
- 2．各種の委員会・審議会への市民委員の公募を行うこと
- 3．意見や要望を話し合う市民懇談会などを開催すること
- 4．若者、女性、高齢者、障害者などあらゆる層がまちづくりへ参画する機会を充実すること
- 5．まちづくり条例の制定など、市民参画のための仕組みづくりを行うこと
- 6．各種計画についての情報公開を充実すること
- 7．助言や相談、専門家派遣などの支援を行うこと
- 8．自治会に対する支援や協力を行うこと
- 9．N P Oなどの市民団体に対する支援や協力を行うこと
- 10．市職員や議員が市民の声を把握し市政に適確に反映しており、市民参加は必要ではない
- 11．その他()
- 12．わからない

3．地区のまちづくりについておたずねします。

問8．今後20年程度の先を見通した上で、市民生活の向上のために特に重視すべき課題は何でしょうか。次の中から3つまで選んで下さい。

- 1．住宅環境の向上 (住宅地や公園の整備、緑化など)
- 2．生活基盤の整備 (下水道や生活道路の整備など)
- 3．道路・交通の充実 (市内幹線道路や鉄道、新たな交通システムの整備など)
- 4．環境保全の充実 (資源リサイクルの仕組みづくりや公害の防止など)
- 5．教育面の充実 (小・中学校の充実や青少年の活動の振興など)
- 6．芸術、文化面の充実 (博物館や美術館の充実、生涯学習・スポーツの振興など)
- 7．楽しみの場の充実 (ショッピングや娯楽、レクリエーションの場の充実など)
- 8．福祉面の充実 (すべての人に優しいまちづくり、さまざまな福祉施設の整備など)
- 9．医療面の充実 (身近な医療から高度な医療までの整備、予防活動など)
- 10．安全面の充実 (防災対策の充実、交通安全対策の充実、防犯対策の充実など)
- 11．自然環境の保全、保護 (河川や水質の浄化、緑の保護、乱開発の防止など)
- 12．市民と行政との協働 (地区のまちづくり活動への参加、コミュニティ活動の促進など)
- 13．その他()

4. 市の将来像についておたずねします。

問9. あなたは、さいたま市が政令指定都市として今後どのような将来像を目指すべきだと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを3つまで選んで下さい。

1. 国、県の行政機関や企業の集積を活かした「首都圏の業務管理機能の一翼を担う都市」
2. 高い産業集積を活かした産業・経済や雇用の面で「広域的な拠点性を発揮する都市」
3. 交通結節点とその利便性を活かした「交通の要（かなめ）となる都市」
4. 高等教育機関やそこに集まる人材を活かした「創造的な研究・開発機能を発揮する都市」
5. 拡大する行政能力を活かして福祉や環境などの大きな課題に取り組む「質の高い生活都市」
6. 水辺や大規模な公園・樹林地を活かした「みどり豊かな都市」
7. 資源リサイクルが行きとどいた「資源循環型の都市」
8. 環境保全に力を入れた「環境にやさしいうるおいのある都市」
9. ゆとりある住宅地やすぐれた都市景観を備えた「快適性の優れた都市」
10. 安心して子どもを産み育てることのできる「子育ての楽しい都市」
11. 障害者や高齢者が安心して暮らせる「保健・福祉の充実した都市」
12. 生涯学習や芸術・文化活動が盛んな「芸術文化の香り高い都市」
13. 市民が身近にスポーツを観たり楽しんだりできる「スポーツ交流の盛んな都市」
14. 市民のボランティア活動やまちづくり活動が盛んな「市民活動の活発な都市」
15. 外国文化との活発な交流のある国際色豊かな「グローバルな都市」
16. その他()

問10. 将来像の実現に向けて、どのような施策・条件整備が必要だと思いますか。次の中から重要と思うものを3つまで選んで下さい。

1. 首都圏の主要都市と直結する交通網
2. 上信越や東北など他の地方圏と結ぶ広域交通網
3. 高度情報化に対応する情報網の整備
4. 事業所立地のための用地やオフィスビルの確保
5. さいたま市の「顔」となる中心市街地の整備
6. 大都市としての風格を感じさせる市街地の景観やゆとりある空間の整備
7. 自然環境の保全
8. 大規模災害などに対する安全性の確保
9. 快適な住環境の整備
10. 公民館・図書館やコミュニティ施設など、公共施設の充実
11. その他()

今後の本市のまちづくりについて、自由なご意見をご記入ください。

さいたま市総合振興計画策定のための
職員意識調査報告書

平成14年3月

発行 さいたま市企画調整課